

◆ 今週のコメント

- ・ 細菌性赤痢の報告が1例(女性, 20歳代)あり, 発熱・下痢・腹痛・嘔吐の症状があります。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は,同居男性が2週間前までタイ・カンボジアに渡航していたことから, 接触感染となっています。
- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型)の報告が, 1例(女性, 70歳代)あります。推定感染地域・推定感染経路は, 不明です。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の報告が13例と, 非常に多くなっています。例年は秋から冬にかけて流行し, 9月にはほとんど報告がありませんでした。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類:細菌性赤痢 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点66, 小児科定点39, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.77	69
	② 手足口病	1.23	48
	③ 突発性発しん	0.41	16
	④ RSウイルス感染症	0.33	13
	④ 水痘	0.33	13
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

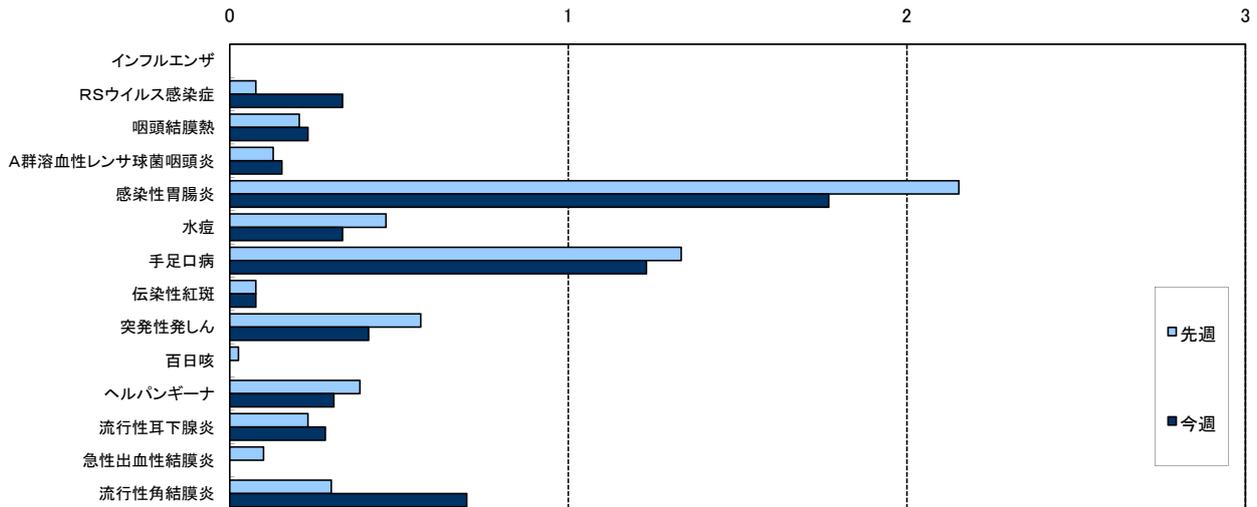
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

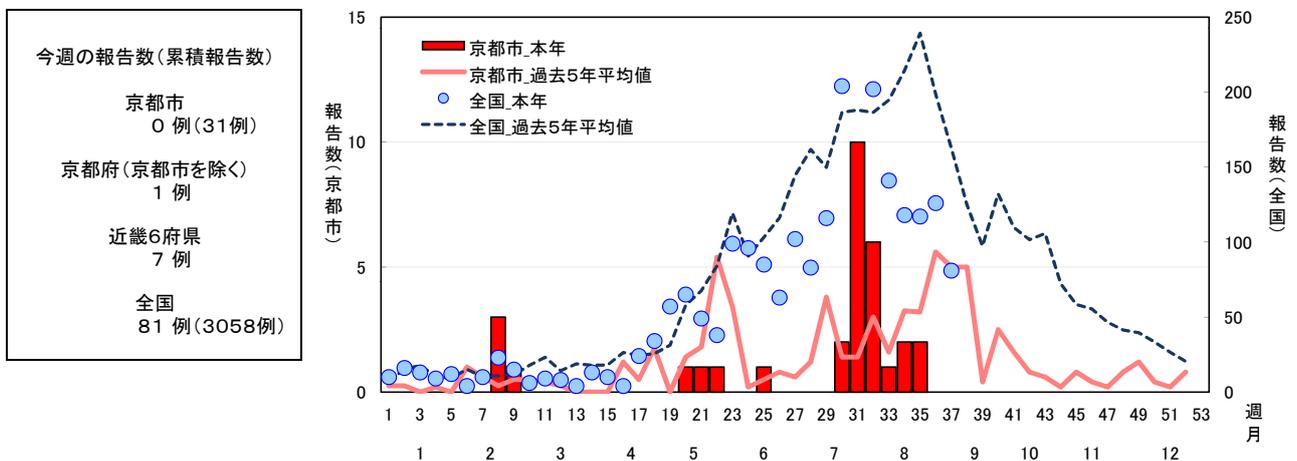
(注) 京都市のデータは, 平成23年9月22日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第37週)と先週(第36週)の定点当たり報告数の比較

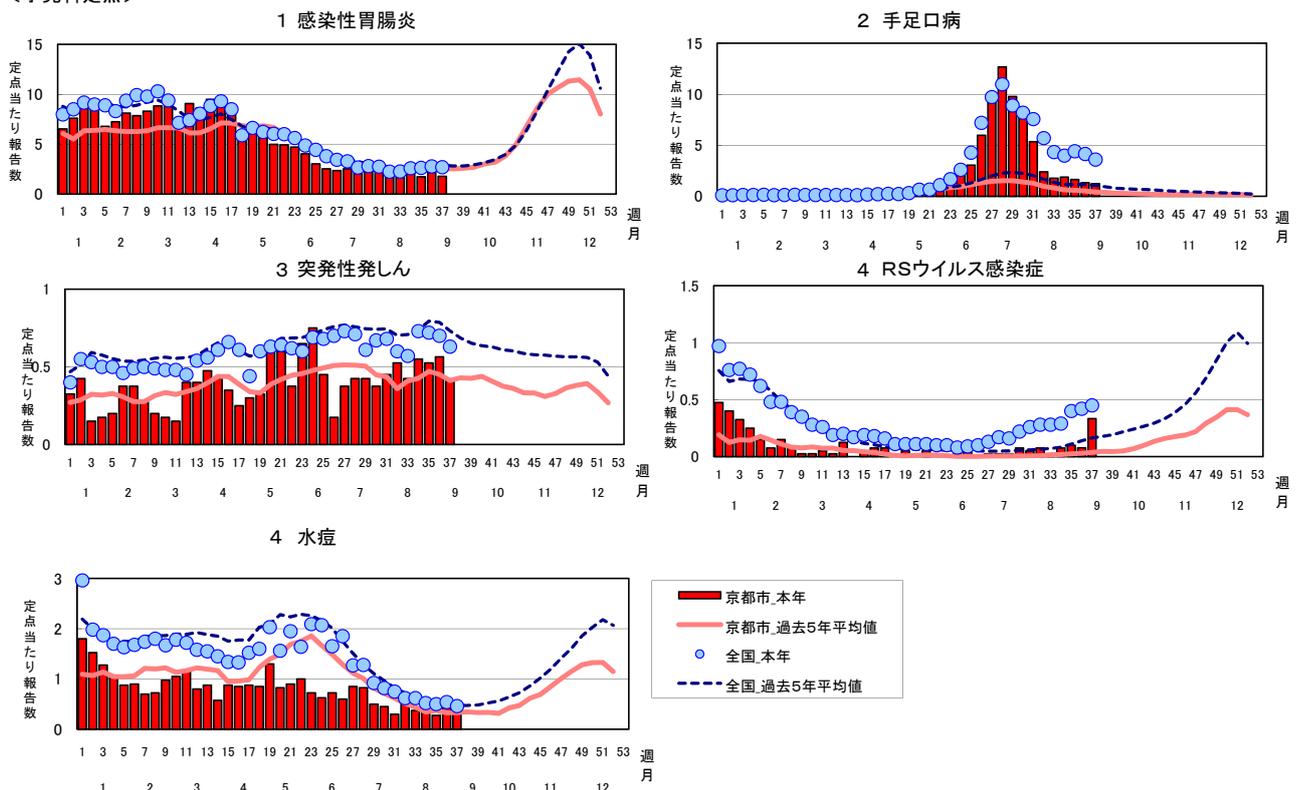


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移



3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



第37週(9月12日～9月18日)トピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の報告が13例と、非常に多くなっています。例年は秋から冬にかけて流行し、9月にはほとんど報告がありませんでした。本年は、第27週(7月4日～7月10日)以降連続して報告があります。全国でも報告数が増加しており、今後動向に注意が必要です。

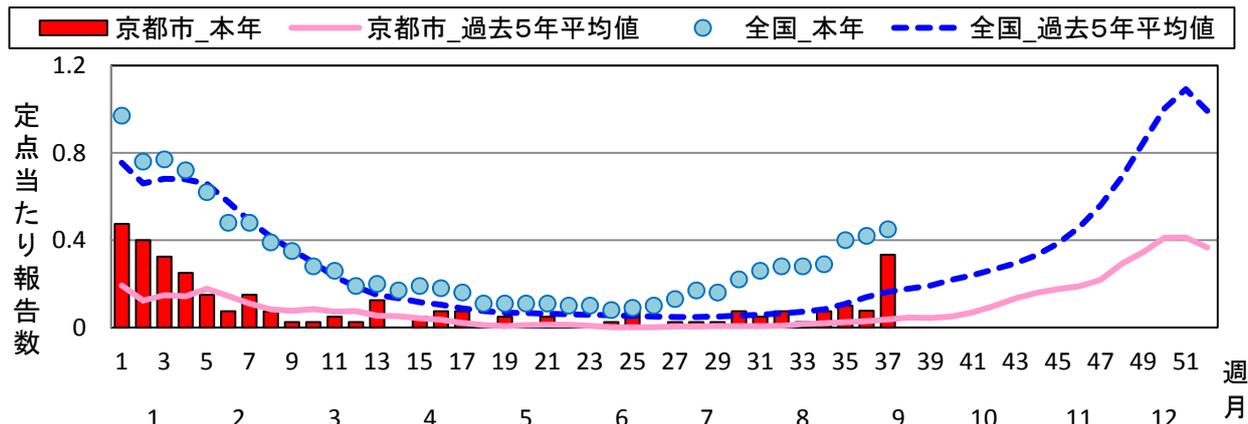
行政区別では、第37週は、北区、上京区、伏見区、中京区で報告があります。

京都市衛生環境研究所ホームページに、RSウイルス感染症についての情報を掲載しています。

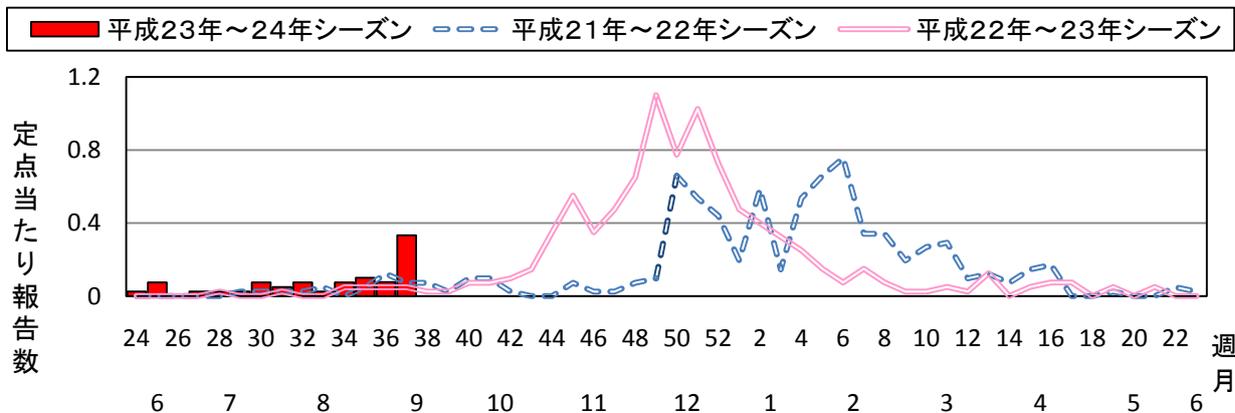
微生物部門ホームページ RSウイルス感染症について

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000076939.html>

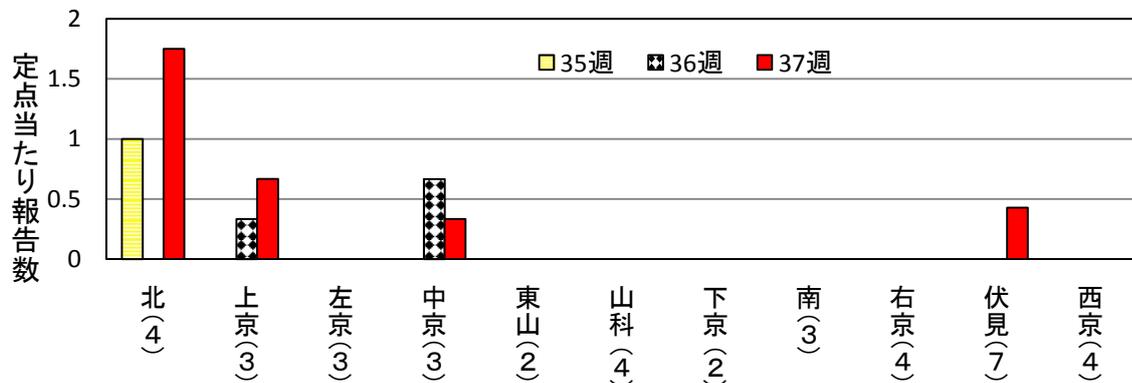
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



本市の過去3年シーズンの定点当たり報告数の推移



行政区別 定点当たり報告数の推移



* ()内は、各区の定点医療機関数